

令和2年度三重県沿岸種資源評価

イサキ

資源水準・動向

低位・減少



生物情報

- 産卵盛期は6～7月であり、雌雄とも2歳から一部の個体で産卵に加わる。
- 三重県における成長は満1歳で尾叉長11cm、2歳で17cm、3歳で22cm、4歳で25cm、5歳で28cm、6歳で30cm、7歳で31cm程度とされているが個体差が大きい。
- カイアシ類、仔稚魚、イワシ類などを捕食する。未成魚はワレカラ類を多く捕食する。

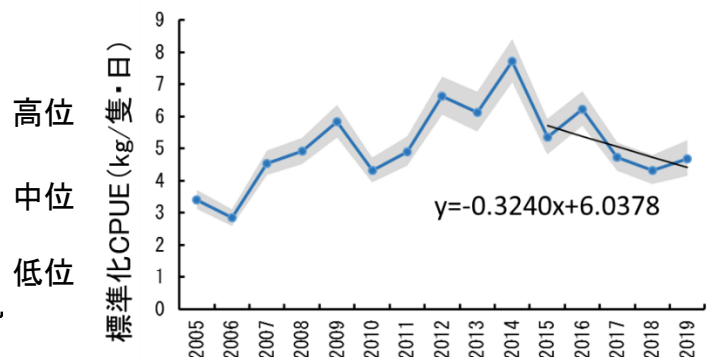
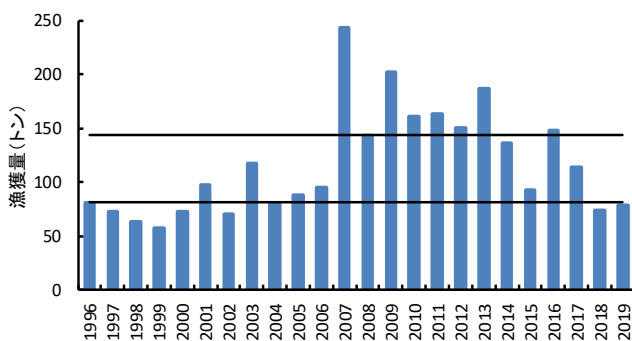
漁業の特徴

- 熊野灘の大型定置網と一本釣りで漁獲される。
- 漁獲盛期は定置網で5～7月と10～12月の年2回、一本釣りで6～7月。
- 定置網の5～7月と一本釣りでは3歳魚以上が漁獲主体、定置網の10～12月では0、1歳魚が漁獲主体である。



資源状態

- 大型定置網の漁獲量から資源水準は「低位」とした。
- 大型定置網の直近5年間の標準化CPUEの推移から資源動向は「減少」とした。



資源管理の取組

- 撒き餌釣りの時期制限、150g未満の放流(長島地区一本釣り)

将来考えられる資源管理の取組

- 大型定置網で混獲される小型個体の再放流